

# お 泉 水

1998年3月10日

## ■平成9年度全国図書館大会

平成9年10月29日～31日、山梨県において、「行動する図書館」というテーマのもと、第83回全国図書館大会が開催された。福井県からの4名を含め、参加者は2千名を超えた。第1日目は開会式、全体会、第2日目は分科会、第3日目は分科会を受けた全体会が行われた。

私の参加した公共図書館部門の分科会では、今後の県立図書館の方向性をテーマに報告・意見交換が行われた。私見ではあるが、この分科会の打ち出した方向性は、県立図書館が県内図書館界をピラミッド状に維持し、その頂上に県立図書館を君臨させるといえるように感じられた。私は、県立図書館の課題は、どうしたら県民に等しく図書館を利用してもらえるのか、そのために市町村立図書館に対し、県立図書館がどのような役割を果たしていくべきかという点にあると考えている。現在は県立の規模を上回る市町村立図書館の新築、市町村立図書館間の広域サービス等、住民のニーズに答える体制が整い始めている。そして、それらの図書館では、効果が確実に貸出冊数に反映されてきている。県立図書館はピラミッドの頂点ではなく、他の公共図書館との連携をとおして、県民全員に利用してもらえ図書館づくりをしていかなくてはいけないだろう。

(福井県立若狭図書学習センター 宮川 雄史)

## ■平成9年度全国公共図書館研究集会

### ◇整理部門

9月18・19日の両日、札幌市において平成9年度全国公共図書館整理部門研究集会が開催された。参加者は199名で本県からは1名が参加した。「公立図書館における映像資料の収集について」をテーマに、第1日目は嵩原安一大東文化大学非常勤講師(前府中市立中央図書館長)による「公共図書館における映像資料サービスと課題」というテーマの基調講演、3館の事例発表、第2日目は研究・討議と情勢報告が行われ、メディアの多様化と利用者の資料増大に対する映像資料収集のあり方、図書館活動のあり方について研究を深めた。

映像資料サービスは、本やその他の資料の提供と同様であり特別ではないとされるが、そのサービスについてはまだまだ模索中である。それは特に県立図書館において顕著である。今回の事例発表もすべて市町村立図書館職員であり、資料の特性ゆえに、住民への直接サービスの第一線である市町村立図書館が、その提供の最先端に立っているのが現状である。県立図書館としてはいかに映像資料を収集保存し、著作権法により相互貸借できな

い映像資料についてどのような形で市町村立図書館をバックアップしていくかが今後の課題となる。

(福井県立図書館 三屋 香織)

### ◇奉仕部門

11月13・14日の2日間、栃木県の鬼怒川温泉にて、奉仕部門の研究集会が開催された。参加者は本県からの5名を含む347名であった。「ネットワークが結ぶもの—広域利用を中心に—」をテーマに、第1日目は慶応大学の糸賀雅児氏の基調講演「21世紀に向けた図書館ネットワーク」があり、3館の事例発表があった。2日目は、質疑・研究協議・情勢報告が行われた。

先の東海北陸地区研究協議大会で、「広域貸出し10年目をむかえて」と題して事例発表をさせていただいたので、発展性・今後の課題は大に関心があった。

この情報化時代に対応するには、ネットワークのためのハード・ソフト面は不可欠であり、その進歩には目をみはるものがあつた。

また、行政の広域化に伴う図書館の広域利用、そして、社会教育施設との連携・協力として市町村や県を超えること。しかし図書館の原点を忘れず将来を見据えていくこと。など、図書館の重要性と共に、明るい展望が見えてきたように感じ、益々の精進を心に誓った意義ある研修となった。(今立町立図書館 為沢 さち子)

### ◇移動図書館協力事業分科会

「読みたい本をもっと身近なところまで」をテーマに10月16日、17日の2日間、佐賀市において研究集会が開催された。参加者は248名で、本県からは1名(佐藤)が参加した。

基調講演「これからの公共図書館(千葉 治・佐賀市立図書館館長)」では、移動図書館の業務は戦前の乳母車による活動にはじまり、現在では一つの分館的意義をもっていることから図書館の窓口業務の最先端であることを説明された。そして、図書館とは建物でもなく、資料でもなく、図書館員が窓口になつており、そこからすべての図書館活動が始まると語気を強められ、改めて日常の業務の重大さを考えさせられた。

参加した研究部会「地域に密着した移動図書館をめざして」(第1部会)は、3館の事例発表があった。内容は、スーパーの駐車場を利用するなどの立地条件を考慮した巡回ステーションの配置や、学校における巡回も教科の学習内容と関連づけた活動、空き教室を利用した奉仕活動の展開の報告があり、大変興味深く、かつ非常に勉強となった2日間であった。

(福井市立図書館 佐藤 秀樹)

# 新設図書館紹介

## 豊かな情報の森を目指して

※ 鯖江市図書館 ※

平成9年12月6日、「人と情報に出会える空間」として開館した「鯖江市文化の館」は、図書館・視聴覚ライブラリー・映像情報館の3施設の機能を持った複合館です。建物は地上2階、地下1階建、延床面積が約6,656㎡あり、旧図書館の約4倍強の広さを持っています。また、設備面でも視聴覚機器を充実し、市民の多様な要望に対応できる、くつろぎのある施設となっています。

図書館は「文化の館」の中心となっており、現在蔵書総数は約16万冊です。1階は一般閲覧室、新聞・雑誌・CDコーナー、参考図書・郷土資料コーナー、大型本コーナー、対面朗読室などがあります。一般閲覧室は、閲覧席数が132席あり、日本初の防震書架を採用し、やさしい光の間接照明を取り入れています。円型の新聞・雑誌・CDコーナーには、新聞12紙、雑誌約200タイトルが置かれ、新聞閲覧台や数多くのソファが備えられています。レファレンス専用のカウンター前には、CD約770タイトルが置かれ、新聞・雑誌・CDコーナーにおいて同時に8ヶ所で聴くことができます。CDは館内視聴のみですが、カセットブックが約750タイトル置かれており、図書と同様貸出可能となっています。明るい窓際の一角には、12畳の畳敷きのスペースがあり、座卓、碁盤、将棋盤が置かれています。また、飲食のできる休憩コーナー、喫煙室、ロッカー室が単独で設けられており、長時間快適に過ごせるようになっています。

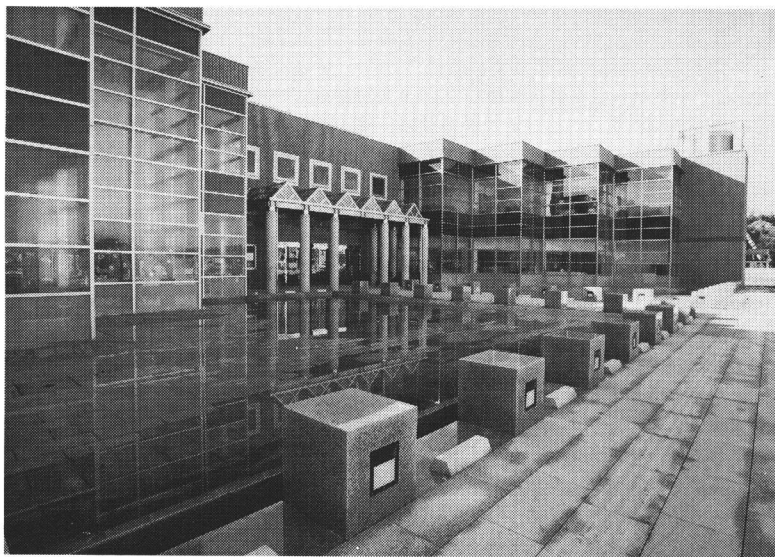
2階は児童閲覧室を中心に、ビデオコーナー、LAN研修室、視聴覚ライブラリー、多目的ホールなどがあります。児童閲覧室は閲覧席数が64席あり、天井が高く、自然光をふんだんに取り入れた、屋外のような明るい部屋になっています。書棚は低くゆったり配置され、お話コーナー、読書室などの部屋が個別に設けられています。さらに、母子室、幼児用トイレも設けられており、小さな子ども連れの利用者の方でも安心して図書館を利用できるように配慮されています。ビデオコーナーには、約450タイトルのビデオが用意されており、8台のブースが備えられています。視聴覚ライブラリーでは教育団体を対象に、16mmフィルムやビデオテープの貸出を行っています。様々な編集が可能なノンリニア編集システムやハイビ

ジョン静止画編集システムなど最新の視聴覚機器を導入し、新しい時代に対応しています。多目的ホールはハイビジョンプロジェクターや200インチのスクリーン、舞台装置（照明、音響設備）を備えており、ハイビジョン映像の鑑賞をはじめ、講演会や、コンサートなどが開催できます。「人と出会える空間」の一環として、交流サロンも設けられており、展示会や、少人数の会合に使用できます。また、図書館友の会の方々など、図書館活動のボランティアグループが打ち合わせ等を行うためのボランティア室もバックヤードに設けられています。地下は閉架書庫となっており、旧館の書架を再利用しています。

図書館の開館時間が、毎日午前10時から午後6時まで、金曜日は午後8時までと延長されたこともあってか、利用者は旧館の2倍以上となり、3ヶ所あるカウンター業務の占める重要性が高くなりました。レファレンスではまさに館内を東奔西走。しかしスペースが広くなり、利用者が増加したことで、サービスが低下しないよう、常に心がけていきたいと思っています。

図書館は、情報がどっしりと根を下ろした森であり、この情報の森がより豊かになるか否かは、職員、ボランティアの方々、利用者の方々のすべての力が必要だと思います。植樹したばかりの図書館ですが、「笑顔」「あいさつ」という天然肥料をもとに、豊かな土壌づくりに励み、愛情をもって育てていきたいと思っています。

(鯖江市図書館 谷崎 香寿美)



# 新設図書館紹介

## 図書館とともに育ちたい

❖ 美山町立図書館 ❖



はじめまして。美山町立図書館でございます。美山町は福井市・大野市・松岡町・永平寺町・上志比村・池田町に囲まれ、勝山市・鯖江市とも隣接しています。ベテランの図書館、美山町よりちょっと先輩の新設図書館に見守っていただける、幸せな位置なのです。

図書館は「みやま木ごころ文化の郷」内に設置されています。文化の郷は、「木ごころ文化ホール」・「みやま町民交流館」・「野外イベント広場」・「美山町立図書館」で構成される文化施設です。でも、複合館というよりも、もうそれそのものというかんじで、中央図書公民館ともいうような役割を担っています。

所蔵能力は、開架 23,000 冊・閉架書庫 20,000 冊で、現在の蔵書資料数は、一般図書 12,500 冊、児童図書 4,200 冊、雑誌 40 タイトル、新聞 5 紙、ビデオ 65 本で、これからどんどん増えていく予定なので楽しみです。利用者からのリクエストを中心に、新刊、話題の本、人気作家の本、旬の本、役にたつ本、レファレンスブック、穴場的な本など、広く深く収集していきたいです。そのためにも、常にアンテナをピンと伸ばし、世間の流れや図書館界の変化、利用者の要望にピッタリ対応できるように注意したいと思います。

美山町立図書館は平成 9 年 11 月 1 日に開館いたしましたが、図書館だけでなく職員も新人ばかりです。他の図書館さんと比べてみて、「これでいいのかな」ととても不安に感じたり、とまどったりあせったり落ち込んだりの日々です。でも今のところ利用者のみなさんは喜んで

くださっています。今まで美山町には図書館がなかったので、様々な図書館サービスを知り、「こんなこともしてくれるの?」と驚き喜んでくれるのです。

多くの美山町の方が、美山町に図書館ができるのを心待ちにしてくれていました。開館前から沢山の人が「ちょっと見せてもらっていいですか?」とたずねていただきました。「こんなに沢山、おもしろくて新しい本ばかり!」と声をはずませていただきました。今まで近隣の図書館まで車をとばして楽しんでた図書館フリークの利用者は特に喜んでくださり、「この本をいれてほしい」とか「こんなイベントをしてほしい」と積極的に要望をおっしゃいます。

これまで図書館というものを知らなかった方々も「孫が、図書館いいわって言うで来てみたんや」とか「交流館に来るついでがあったでちょっと図書館も見せてもらいに来たんです」とふらりと寄ってくださいます。

そういう利用者や初めて来館される方にリピーターになっていただくため、また、学校帰りに「今日寄ろうかな、明日にしておこうかな」と考える常連の小中学生に 1 回でも多く図書館に来ていただくため、オープンな雰囲気を保つよう心がけています。一般書コーナーの一部と絵本コーナー・児童書コーナーはガラス張りです。自然の光が充分採光できます。書架も、低書架を採用しており見通しがよいので親子連れの利用者に喜ばれております。毎日、天気や日差しに合わせてカーテンのあけしめを調節しています。何回来ても、毎日来ても飽きないようになさいな事でも変化を、アクセントをつけたいです。

水曜日は午後 7 時 30 分まで開館時間を延長し、利用者には大変喜ばれています。しかし職員数の関係で週休 2 日制で、これでオープンと言えるだろうかかと心苦しいです。今後は町内の 7 つの学校との連絡提携をより充実させ、移動図書館サービスや宅配本サービスを実施する予定です。

これからも今の初心を忘れず、利用者とともにありたいと思う気持ちを大切にし、美山町立図書館とともに私自身も育ってまいります。

(美山町立図書館 島田 真希)

# 新設図書館紹介

## どうってことない図書館ですが

※ 松岡町立図書館 ※

平成9年7月18日、それまで公民館の狭い一室で、なかば物置状態と評されていた図書室から、ようやく独立した図書館としてオープンすることができました。

《まずはスリーサイズ?》

鉄筋コンクリート2階建てで、建築面積701㎡、1階開架フロア467㎡に一般書・児童書・お話コーナー・新聞雑誌コーナー・AVコーナー・参考図書コーナーを設け、2階は視聴覚室・会議室・展示コーナー・閉架書庫となっています。昨今の新設図書館としては狭い方かと思われませんが、諸般の事情（お察しください）と、広さより立地条件を採った結果です。ほぼ町の中心で、1km圏内に町人口の60%・2km圏内に80%を覆う位置に建てられたことは、敷地の狭さや駐車場不足を補うメリットがあると考えました。

外観は、周囲の景観と調和させるため、白壁

に瓦葺きの地味な印象となりました。面白味に欠け、魅力が乏しいとも指摘されますが、町並みになじむことで、気張らずさりげない雰囲気が出てくるのではと期待しています。実のところは、司書側からは、児童を引き付けるようなかわい外観を希望したのですが、館長補佐の「外見より中味!」の「つるの一声」でした(涙)。

《小柄でも「技のデパート」舞の海?》

独立した図書館の経験者が皆無という素人集団で、何もかも手探りで準備を始め、不安とあせりの日々に、地獄に仏、ボランティアの方々が、公民館からの図書の移送や仕分け・装備作業に毎日のように通っていただきました。そのほか様々な関係者に支えられ、なんとか蔵書24,000冊、ビデオ500巻、CD350枚、雑誌60タイトル、新聞9紙でスタートすることができました。

よく「特色はなんですか」と聞かれますが、答えられません。ただ、ビデオとCDについて、1人2点までの制限で館外にも貸し出しています。これには異論も多いことと思います。実際、ビデオ・CD・まんがに児童の

人気が集中している状態で、「これでいいのか?」と迷いますが、まずは誰もが気軽に借りて帰る図書館にすることを優先にしました。「貸出サービス」を原則とし、参考図書も稀少本以外は館外貸出を認めています。閲覧用の机・椅子は極端に少なくしました。(この方針は大事にしたかったのですが「子供が勉強する場所がない」という町民からの苦情に押しきられた形で、不本意ながら、現在は夏休みと土曜・日曜日に2階の会議室を学習室として開放しています。)

平成10年1月末現在で、蔵書は30,500冊、利用登録者は2,560人です。開館直後の7月には1日平均200人を超した貸出利用者数も、現在は1日平均110人に落ち着いています。(じわじわ危機を感じてきています。)

開館時間は午前10時から午後6時までとし、木曜日のみ8時まで延長し

ています。延長時間にどれほど利用してもらえるか不安でしたが、今のところ12・1月の平均で、この2時間に26人の貸出利用者があり、ホッと胸をなでおろしています。

《課題山積みのまま、「図書館号」は無謀運転?》

日々、目先の業務に追われてきましたが、考えればめまいをおこしそうな程の課題があります。まず駐車場不足(近くの役場駐車場への案内表示等の対策が必要)、学校との団体貸出の運用。また、遅れているボランティアの組織づくりも急務です。町民、特に中学生と中高年男性へのアピールも課題です。窓口やレファレンス業務等の基礎も弱く、傍若無人のふるまいのお子様には、つい顔もひきつり、途方にくれることも多い未熟な我々ですが、ぶらっと立ち寄りたくなるような、町民に身近な図書館をめざして少しずつ解決していこうと思います。開館を待ち望み、喜び、これからも支えてくださる人々の想いに報いるためにも。

(松岡町立図書館 小原 智子)





# 改築図書館紹介

## こどもたちに親しまれる図書館に

❖ 武生市立図書館 ❖

平成10年1月8日、武生市立図書館本館北隣に、児童室キッズがオープンしました。子供を対象とした独立した児童室(建物)です。

この児童室は、旧第一信用組合の解散に伴い市が買収した信組武生支店ビルを改装したものです。現図書館の開架及び閲覧スペースが手狭であるため、図書館別館としての利用が検討され、児童向けの図書部門を移しました。

施設概要としては、延床面積277.84㎡、鉄筋コンクリート3階建、1階・2階が児童閲覧室、3階がイベントホールになっています。蔵書数は2万7千冊で、

1階には日本・外国のよみもの、絵本、雑誌、2階には0～8類の本、紙芝居を収めました。

開館時間は本館と同様、火曜日から土曜日は午前10時から午後6時、日曜日は午前10時から午後4時迄です。

室内は1階・2階あわせて、これまでの児童コーナーの2倍の広さになり、カラフルなマットや椅子を所々配置し、ゆっくりと本が閲覧できるようになっています。カウンターや書架は木製のものを設置し、木目の床や壁とも合い、自然な印象をうけます。また元信組だけあって、頑丈な扉のついた金庫があったのですが、扉をとり大きなマットを置いて、小型絵本のコーナーにしました。内部の案内図や注意書き、新刊コーナー、しかけ絵本の展示コーナーなど、細かいところまで手作りで、あたたかい雰囲気になるようにしています。

また、児童室キッズができることにより、本館も図書の配置が変わりました。児童書の移動によって空いたスペースへ一般書の移動を行いました。

これまでは8段書架の棚上にまで全集などが置いてあり、かなりの圧迫感が感じられ、書棚の方も、本がぎっしり入っていました。利用者にとっては非常に利用しにくい状態だったと思います。しかし、今回の移動によって、棚上の本がなくなり、書棚にも余裕がでて、全体的にゆったりとした雰囲気になりました。そして、利用の多い料理・手芸の本や、立って見るには重い大型の芸術



関係の本などは、書架の前に座って閲覧できるスペースがある場所へ収められました。これまで利用者の手にとられなかった本も生き返ったのではないかと思います。

キッズが開館してからまだ2か月ほどですが、本館・キッズともに利用者が増えました。このことはカウンター業務で実感していましたが、実際、数字の上でも去年の同期値と比較すると、一般書・児童書共貸出冊数が伸びています。

開架スペースの拡張を最優先に、信組ビルの利用法を考え児童室として開館しました。色々と懸案事項がありましたが、現在の利用状況は私たち職員にとってうれしいものです。しかし、それに甘んじていけないのも現実です。

最近これら子供連れのお母さんが古い資料を借りていかれた時、「こういう本があるからくるのよ」と言われたのがとても印象に残りました。図書館を訪れる人が皆、自分の望む本と出会えるように、現在所蔵する貴重な資料とあわせ、常にアンテナを張って、より一層棚を充実させようと改めて思っています。

児童室キッズは、子供たちが自由に、気兼ねなく本と親しめ、知識を得る場として利用してくれることを願って開館しました。キッズの意味するわんぱく坊やたちに親しまれ愛されるように魅力ある図書館にしていきたいと考えています。(武生市立図書館 浦井 美保)

## 平成9年度福井地区大学図書館協議会夏季研修会

- 開催日 平成9年8月1日(金) 15:00~17:00
- 開催場所 福井県立大学共通講義棟104小講義室
- 参加者 福井地区大学図書館協議会加盟館(福井大学、福井医科大学、福井工業大学、福井高等専門学校、仁愛女子短期大学、敦賀女子短期大学、福井県立大学)の館員26名

### ■研修内容

講演…「古文書あれこれ」—経済学と古文書—

講師…原田 政美(福井県立大学経済学部・教授)

商家に眠る貴重な史料との出会いについて、日本流通史の研究者・原田氏に講演をお願いした。

なぜ経済学に古文書が必要か。繊維産業史と史料、北前船による水産物流通史料、江戸時代に役人への献金額を相談した史料、幕末における給金引上げ運動史料など県内の古文書調査の際に、発見した興味深い事項について解説。旧家の蔵の中には、まだまだ貴重な文書が眠っているのではないか。それにしても文書の保存は後世のために大事。

(福井県立大学情報センター 三嶋 善之)

## 福井県学校図書館協議会この1年

- 5月19日 第1回県学校図書館協議会役員会  
(於金津高校)
- 5月27日 第2回県学校図書館協議会役員会  
第1回県学校図書館協議会理事会  
(於金津高校)
- 4月~7月 第23回県小中学生読書感想文コンクール(福井新聞社主催、県SLA後援)  
締切日…6月15日(土)
- 7月8日 第3回県学校図書館協議会役員会  
福井県学校図書館研究大会奥越地区運営委員会  
(於勝山北部中学校)
- 7月~10月 平成9年度文庫による読書感想文コンクール(福井新聞社主催、県SLA後援)に参加
- 7月31日 第35回近畿学校図書館研究大会 滋賀大会  
~8月1日 (55名参加) (於草津市)
- 9月24日 第4回県学校図書館協議会役員会  
福井県学校図書館研究大会実行委員打合せ  
(於勝山北部中学校)
- 9月25日 平成9年度学校図書館研究協議会(3名参加)  
~26日 (於東京都)
- 10月23日 第43回青少年読書感想文全国コンクール県予選を実施
- 11月18日 第33回福井県学校図書館研究大会(奥越大会)  
(於勝山市)
- 1月20日 1997年度読書感想画コンクール県審査会
- 1月23日 第5回県学校図書館協議会役員会  
(於金津高校)

- 2月3日 全国学校図書館協議会事務局長会議  
~4日 (於東京都)
- 2月12日 会誌「福井県の学校図書館」第43号発行
- 2月12日 第6回県学校図書館協議会役員会  
第2回県学校図書館協議会理事会  
(於県立図書館)  
(福井県学校図書館協議会事務局長 水崎 邦子)

## 平成9年度東海北陸地区公共図書館研修・研究協議会 (東海北陸地区公共図書館研究集会)

9月8日から12日までの5日間、石川県立図書館において、「図書館ネットワークのこれから」というテーマで研究集会と研究協議会が開催された。これまでは2日間の集会であったが、今年度からは文部省の方針により5日間に増えた。図書館における各業務指導的立場にある中堅以上の司書を対象に、図書館業務の専門領域における知識・技術の向上を図ることを目的とした体系的・計画的な研修を充実させるという趣旨である。参加者は全国から208人、本県からは5日間で11人が参加した。最初の3日間は演習や講義、情報交換が行われ、後の2日間は図書館見学や基調講演・パネル・ディスカッション等が行われた。

研修の内容も例年とは異なり、図書館の地域協力についてや情報ネットワーク、利用者が求めるサービス等について中央から講師を招いて講義が行われた。また、今年より新しく変わった文部省の公共図書館の新興方策についての報告、国立国会図書館が行っているパイロット電子図書館や石川県が行っているインターネット等の現状報告や情報の提供の要請があった。他に金沢市立泉野図書館を見学する等新しい日程が加わった。

最終日はパネル・ディスカッションによる討議が行われ、活発な意見が交換された。

(福井県立図書館 河合 幸子)

## 平成10年度研究集会および研修会(予定)

区 分	開催地	期 日
全 国 大 会	秋 田 市	平成10年10月21日 ~23日
整 理 部 門	大 分 市	平成10年9月17・18日
奉 仕 部 門	岐 阜 市	平成10年11月25・26日
参 考 事 務 分 科 会	熱 海 市	平成10年10月1・2日
児 童 図 書 館 分 科 会	広 島 市	平成10年11月18・19日
東 海 北 陸 地 区 公 共 図 書 館 研 修 (仮 称)	名 古 屋 市	平成10年9月上旬 (予定)
東 海 北 陸 地 区 公 共 図 書 館 研 究 集 会	愛 知 県	平成10年9月下旬 (予定)
日 本 図 書 館 協 会 地 方 講 習 会	石 川 県	期 日 未 定